

補助金チェックシート

作成年度: 令和元年度

1. 補助金の内容

補助金名称	母子家庭等厚生事業補助金		
所管部署	子ども青少年部 子ども総合相談センター		
根拠名称 (交付規則以外)	枚方市母子家庭等厚生事業補助金交付要項		
交付の目的	母子家庭及び寡婦(以下、「母子家庭等」)が地域社会で支えあうため、情報交換や交流などその環境づくりを目的として実施する事業に対して補助金を交付することにより、母子家庭等の福祉の増進を図るため。		
補助対象経費	広く母子家庭等に周知を図り、参加を呼びかけて、顕彰、体験発表、情報交換又は交流を行うことで、母子家庭等の教養及び福祉の増進を図る事業に対して補助するもの。		
補助率・補助額	定率補助		
交付先	団体(不特定)		
開始年度	不明	終期年度	R4年度末(サンセット期日)
補助金性質分類	制度的補助	団体運営補助	事業費補助 ○ その他
法令等での義務付け	なし	法令等名称	

2. 補助金の決算状況等

(千円)			
	H28	H29	H30
予算額	300	300	300
決算額	300	300	300
特定財源	国庫支出金	0	0
	府支出金	0	0
	その他	0	0
一般財源	300	300	300

(件)			
交付実績	H28	H29	H30
	1	1	1

3. 補助金の見直し

①補助金交付の基本的な視点

i 継続の判断(いずれかが不適合の場合は廃止)

視点	チェックポイント	チェック
公益性	補助金交付対象事業の目的や内容が、広く市民の利益に貢献するもので、特定のものの利益に供するものではない。	✓
必要性	関連する施策目標や事務事業目的の達成に必要な不可欠な補助金交付である。	✓
	ニーズが高い又は高いニーズが見込まれる補助金である。	✓
有効性	期待する効果をあげている。又は効果をあげる見込みがある。	✓
	補助金交付が委託や直接執行等と比較し、より適正で効果的な手法である。	✓

ii 補助金制度の検証

視点	チェックポイント	チェック	対応案	対応予定時期
必要性	調査等により市民のニーズを的確に把握している。又は他市町村でも同様の補助制度が多数存在することを確認している等、ニーズの推定ができています。	✓		
	一定数の交付申請件数がある。	✓		
有効性	補助金交付の具体的な効果測定方法が確保されている。	✓		
	終期設定がされている。	✓		
公平性	要件を満たす不特定多数が交付申請可能な制度となっている。又は特定のもののみに交付を行う合理的な理由がある。	✓		
妥当性	全額補助となっていない。又は全額補助を行う合理的な理由がある。	✓		
	補助率、補助金額、補助対象経費等の妥当性について確認している。	✓		
	補助率、補助金額、補助対象経費等が明確である。	✓		
	補助率、補助金額、補助対象経費が公表されているなど透明性が確保できている。	✓		

②補助金性質分類別の視点

事業費補助

該当	チェックポイント	チェック	対応案	対応予定時期
○	市が公益上必要と認める特定の事業や活動に限定した補助金交付となっている。	✓		
	交付団体の財政状況等を勘案し補助金交付が必要であると客観的に認められる。	✓		

4. 補助金の今後の方向性

方向性	現状のまま継続
上記方向性を 選択した理由 (「改善して継続の 場合は改善内容」)	母子家庭等が地域社会で支えあうため、情報交換や交流などその環境づくりを目的とした補助金であり、母子家庭等の福祉の増進のため、必要不可欠であるため。
対応完了・廃止予定時期	

補助金チェックシート

作成年度: 令和元年度

1. 補助金の内容

補助金名称	自立支援教育訓練給付金		
所管部署	子ども青少年部 子ども総合相談センター		
根拠名称 (交付規則以外)	枚方市ひとり親家庭自立支援給付金の支給に関する規則		
交付の目的	ひとり親家庭の親が、自立のために自主的に職業能力の開発(職業訓練)に取り組むため、厚生労働省令で定める教育訓練を受け、講座を修了した場合、補助金を交付することで、ひとり親家庭の自立促進を図るため。		
補助対象経費	対象教育訓練の受講のために本人が支払った費用。		
補助率・補助額	定率補助		
交付先	個人		
開始年度	平成19年度	終期年度	R4年度末(サンセット期日)
補助金性質分類	制度的補助 <input type="radio"/>	団体運営補助 <input type="checkbox"/>	事業費補助 <input type="checkbox"/> その他 <input type="radio"/>
法令等での義務付け	なし	法令等名称	

2. 補助金の決算状況等

				(千円)		
		H28	H29	H30		
予算額		600	1,100	575		
決算額		368	230	343		
特定財源	国庫支出金	276	172	257		
	府支出金	0	0	0		
	その他	0	0	0		
	一般財源	92	58	86		
				(件)		
交付実績		5	6	9		

3. 補助金の見直し

① 補助金交付の基本的な視点

i 継続の判断(いずれかが不適合の場合は廃止)

視点	チェックポイント	チェック
公益性	補助金交付対象事業の目的や内容が、広く市民の利益に貢献するもので、特定のものの利益に供するものではない。	✓
必要性	関連する施策目標や事務事業目的の達成に必要な不可欠な補助金交付である。	✓
	ニーズが高い又は高いニーズが見込まれる補助金である。	✓
有効性	期待する効果をあげている。又は効果をあげる見込みがある。	✓
	補助金交付が委託や直接執行等と比較し、より適正で効果的な手法である。	✓

ii 補助金制度の検証

視点	チェックポイント	チェック	対応案	対応予定時期
必要性	調査等により市民のニーズを的確に把握している。又は他市町村でも同様の補助制度が多数存在することを確認している等、ニーズの推定ができています。	✓		
	一定数の交付申請件数がある。	✓		
有効性	補助金交付の具体的な効果測定方法が確保されている。	✓		
	終期設定がされている。	✓		
公平性	要件を満たす不特定多数が交付申請可能な制度となっている。又は特定のもののみに交付を行う合理的な理由がある。	✓		
妥当性	全額補助となっていない。又は全額補助を行う合理的な理由がある。	✓		
	補助率、補助金額、補助対象経費等の妥当性について確認している。	✓		
	補助率、補助金額、補助対象経費等が明確である。	✓		
	補助率、補助金額、補助対象経費が公表されているなど透明性が確保できている。	✓		

②補助金性質分類別の視点

制度的補助

該当	チェックポイント	チェック	対応案	対応予定時期
○	国や府の法令等に基づく補助金であり、現在も制度が継続している。	✓		
	市単独の上乗せ等を行っていない。	✓		

その他

該当	チェックポイント	チェック	対応案	対応予定時期
○	他の類似制度と重複が無いか確認をした。	✓		

4. 補助金の今後の方向性

方向性	現状のまま継続
上記方向性を 選択した理由 (「改善して継続の 場合は改善内容」)	ひとり親家庭の親が、自立のために自主的に職業能力の開発(職業訓練)に取り組むことを目的とした補助金であり、ひとり親家庭の自立促進を図るために必要不可欠である。
対応完了・廃止予定時期	

補助金チェックシート

作成年度: 令和元年度

1. 補助金の内容

補助金名称	高等職業訓練促進給付金		
所管部署	子ども青少年部 子ども総合相談センター		
根拠名称 (交付規則以外)	枚方市ひとり親家庭自立支援給付金の支給に関する規則		
交付の目的	ひとり親家庭の親が厚生労働省令で定める資格を取得するために養成機関で修業する場合、その修業期間に給付金を支給することで、生活の負担軽減を図り、資格取得を支援するため。		
補助対象経費	申請のあった日の属する月から全修業期間の生活の負担軽減のための支給。ただし、上限4年。		
補助率・補助額	定額補助		
交付先	個人		
開始年度	平成19年度	終期年度	R4年度末(サンセット期日)
補助金性質分類	制度的補助 <input type="radio"/>	団体運営補助 <input type="checkbox"/>	事業費補助 <input type="checkbox"/> その他 <input type="radio"/>
法令等での義務付け	なし	法令等名称	

2. 補助金の決算状況等

(千円)				
	H28	H29	H30	
予算額	14,938	23,990	28,507	
決算額	13,709	19,679	28,207	
特定財源	国庫支出金	10,281	21,155	
	府支出金			
	その他			
一般財源	3,428	4,920	7,052	
(件)				
交付実績	16	25	31	

3. 補助金の見直し

① 補助金交付の基本的な視点

i 継続の判断(いずれかが不適合の場合は廃止)

視点	チェックポイント	チェック
公益性	補助金交付対象事業の目的や内容が、広く市民の利益に貢献するもので、特定のものの利益に供するものではない。	✓
必要性	関連する施策目標や事務事業目的の達成に必要な不可欠な補助金交付である。	✓
	ニーズが高い又は高いニーズが見込まれる補助金である。	✓
有効性	期待する効果をあげている。又は効果をあげる見込みがある。	✓
	補助金交付が委託や直接執行等と比較し、より適正で効果的な手法である。	✓

ii 補助金制度の検証

視点	チェックポイント	チェック	対応案	対応予定時期
必要性	調査等により市民のニーズを的確に把握している。又は他市町村でも同様の補助制度が多数存在することを確認している等、ニーズの推定ができています。	✓		
	一定数の交付申請件数がある。	✓		
有効性	補助金交付の具体的な効果測定方法が確保されている。	✓		
	終期設定がされている。	✓		
公平性	要件を満たす不特定多数が交付申請可能な制度となっている。又は特定のもののみに交付を行う合理的な理由がある。	✓		
妥当性	全額補助となっていない。又は全額補助を行う合理的な理由がある。	✓		
	補助率、補助金額、補助対象経費等の妥当性について確認している。	✓		
	補助率、補助金額、補助対象経費等が明確である。	✓		
	補助率、補助金額、補助対象経費が公表されているなど透明性が確保できている。	✓		

②補助金性質分類別の視点

制度的補助

該当	チェックポイント	チェック	対応案	対応予定時期
○	国や府の法令等に基づく補助金であり、現在も制度が継続している。	✓		
	市単独の上乗せ等を行っていない。	✓		

その他

該当	チェックポイント	チェック	対応案	対応予定時期
○	他の類似制度と重複が無いか確認をした。	✓		

4. 補助金の今後の方向性

方向性	現状のまま継続
上記方向性を 選択した理由 (「改善して継続の 場合は改善内容」)	ひとり親家庭の親が、自立のために修業機関に修業中の生活費補助を目的とした補助金であり、ひとり親家庭の自立促進を図るために必要不可欠である。
対応完了・廃止予定時期	

補助金チェックシート

作成年度: 令和元年度

1. 補助金の内容

補助金名称	高等学校卒業程度認定試験合格支援給付金		
所管部署	子ども青少年部 子ども総合相談センター		
根拠名称 (交付規則以外)	枚方市高等学校卒業程度認定試験合格支援補助金交付要綱		
交付の目的	ひとり親家庭の親又は子が高等学校卒業程度認定試験(以下、「高卒認定試験」)に合格するための経費を補助することで、ひとり親家庭の親又は子の就職又は転職を支援し、ひとり親家庭の自立及び生活の安定を図るため。		
補助対象経費	高卒認定試験のための講座の受講料。		
補助率・補助額	定率補助		
交付先	個人		
開始年度	平成28年度	終期年度	R4年度末(サンセット期日)
補助金性質分類	制度的補助 <input type="radio"/>	団体運営補助 <input type="checkbox"/>	事業費補助 <input type="checkbox"/> その他 <input type="radio"/>
法令等での義務付け	なし	法令等名称	

2. 補助金の決算状況等

				(千円)		
		H28	H29	H30		
予算額		750	300	97		
決算額		168	35	0		
特定財源	国庫支出金	126	26	0		
	府支出金					
	その他					
一般財源		42	9	0		
				(件)		
交付実績		2	1	0		

3. 補助金の見直し

① 補助金交付の基本的な視点

i 継続の判断(いずれかが不適合の場合は廃止)

視点	チェックポイント	チェック
公益性	補助金交付対象事業の目的や内容が、広く市民の利益に貢献するもので、特定のものの利益に供するものではない。	✓
必要性	関連する施策目標や事務事業目的の達成に必要な不可欠な補助金交付である。	✓
	ニーズが高い又は高いニーズが見込まれる補助金である。	✓
有効性	期待する効果をあげている。又は効果をあげる見込みがある。	✓
	補助金交付が委託や直接執行等と比較し、より適正で効果的な手法である。	✓

ii 補助金制度の検証

視点	チェックポイント	チェック	対応案	対応予定時期
必要性	調査等により市民のニーズを的確に把握している。又は他市町村でも同様の補助制度が多数存在することを確認している等、ニーズの推定ができています。	✓		
	一定数の交付申請件数がある。	✓		
有効性	補助金交付の具体的な効果測定方法が確保されている。	✓		
	終期設定がされている。	✓		
公平性	要件を満たす不特定多数が交付申請可能な制度となっている。又は特定のもののみに交付を行う合理的な理由がある。	✓		
妥当性	全額補助となっていない。又は全額補助を行う合理的な理由がある。	✓		
	補助率、補助金額、補助対象経費等の妥当性について確認している。	✓		
	補助率、補助金額、補助対象経費等が明確である。	✓		
	補助率、補助金額、補助対象経費が公表されているなど透明性が確保できている。	✓		

②補助金性質分類別の視点

制度的補助

該当	チェックポイント	チェック	対応案	対応予定時期
○	国や府の法令等に基づく補助金であり、現在も制度が継続している。	✓		
	市単独の上乗せ等を行っていない。	✓		

その他

該当	チェックポイント	チェック	対応案	対応予定時期
○	他の類似制度と重複が無いか確認をした。	✓		

4. 補助金の今後の方向性

方向性	現状のまま継続
上記方向性を 選択した理由 (「改善して継続の 場合は改善内容」)	ひとり親家庭等の親または子の就職又は転職を支援し、ひとり親家庭の自立及び生活の安定を図るために必要不可欠である。
対応完了・廃止予定時期	

補助金チェックシート

作成年度: 令和元年度

1. 補助金の内容

補助金名称	ファミリーサポートセンター利用支援補助金		
所管部署	子ども青少年部 子ども総合相談センター		
根拠名称 (交付規則以外)	枚方市ファミリーサポートセンター利用支援事業補助金交付要綱		
交付の目的	ひとり親世帯に対して、ファミリーサポートセンター利用料の助成を行うことにより、保護者の精神的、身体的負担を軽減し、子どもの健やかな育ちを促進することを目的とする。		
補助対象経費	枚方市ファミリーサポートセンターの利用に係る費用		
補助率・補助額	定額補助		
交付先	個人		
開始年度	平成28年度	終期年度	R4年度末(サンセット期日)
補助金性質分類	制度的補助	団体運営補助	事業費補助 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/>
法令等での義務付け	なし	法令等名称	

2. 補助金の決算状況等

	H28	H29	H30
予算額	840	336	102
決算額	79	51	25
特定財源	国庫支出金	0	0
	府支出金	0	0
	その他	0	0
一般財源	79	51	25

交付実績	H28	H29	H30
	11	9	4

3. 補助金の見直し

①補助金交付の基本的な視点

i 継続の判断(いずれかが不適合の場合は廃止)

視点	チェックポイント	チェック
公益性	補助金交付対象事業の目的や内容が、広く市民の利益に貢献するもので、特定のものの利益に供するものではない。	✓
必要性	関連する施策目標や事務事業目的の達成に必要な不可欠な補助金交付である。	✓
	ニーズが高い又は高いニーズが見込まれる補助金である。	✓
有効性	期待する効果をあげている。又は効果をあげる見込みがある。	✓
	補助金交付が委託や直接執行等と比較し、より適正で効果的な手法である。	✓

ii 補助金制度の検証

視点	チェックポイント	チェック	対応案	対応予定時期
必要性	調査等により市民のニーズを的確に把握している。又は他市町村でも同様の補助制度が多数存在することを確認している等、ニーズの推定ができています。	✓		
	一定数の交付申請件数がある。	✓		
有効性	補助金交付の具体的な効果測定方法が確保されている。	✓		
	終期設定がされている。	✓		
公平性	要件を満たす不特定多数が交付申請可能な制度となっている。又は特定のもののみに交付を行う合理的な理由がある。	✓		
妥当性	全額補助となっていない。又は全額補助を行う合理的な理由がある。	✓		
	補助率、補助金額、補助対象経費等の妥当性について確認している。	✓		
	補助率、補助金額、補助対象経費等が明確である。	✓		
	補助率、補助金額、補助対象経費が公表されているなど透明性が確保できている。	✓		

②補助金性質分類別の視点

その他

該当	チェックポイント	チェック	対応案	対応予定時期
○	他の類似制度と重複が無い確認をした。	✓		

4. 補助金の今後の方向性

方向性	現状のまま継続
上記方向性を 選択した理由 (「改善して継続の 場合は改善内容」)	ひとり親世帯の保護者の精神的、身体的負担を軽減し、子どもの健やかな育ちを促進するため、必要不可欠である。 また、類似事業である「ひとり親家庭等日常生活支援事業」同様、各家庭の個々の事情により、一定数の需要があり、今後も継続が必要と考える。
対応完了・廃止予定時期	